



## NanaHoshi のご紹介

<http://ec-cube.ec-orange.jp/lp/nanahoshi/>

S-cubism  
株式会社エスキュービズム

## 現状と課題：少ない選択肢

	年間コスト	大規模対応
OracleRAC	<del>数千万～</del>	可能
MySQL PostgreSQL	ゼロ	<del>不適</del>

年間コスト : OSSベースでゼロ  
大規模対応 : 簡単にスケール可能

**双方を同時に満たす  
新しいソリューションが待たれている**

## NanaHoshi とは

現在、ベースとして採用しているのは



Apacheのトップレベルプロジェクトの1つで  
Facebook社がOSS化した分散KVS

**同時に解決**

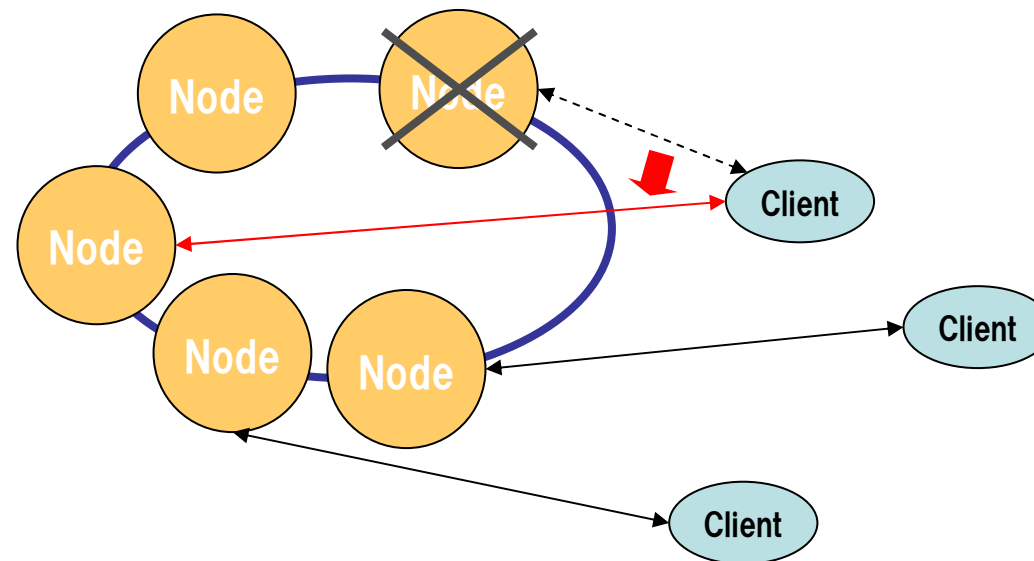
年間コスト : OSSベースでゼロ  
大規模対応 : 簡単にスケール可能

# NanaHoshiの特徴

## NanaHoshi の特徴-1: SPOFフリー

### ■ 単一障害点 (SPOF) 無し

どのノードが停止しても、致命的なエラーとなりません。



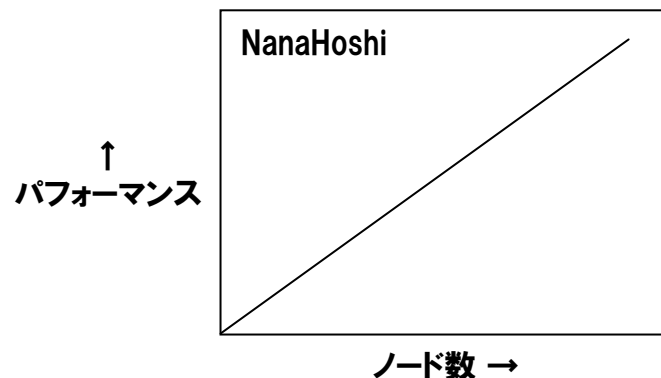
全てのノードが独立・連携して動作

## NanaHoshi の特徴-2:スケーラビリティ

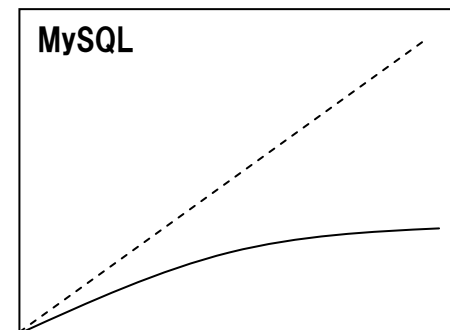
### ■スケールアウトが容易

ノードを追加することで処理性能がリニアに向上します。

必要な時に必要なだけリソースを使用するエコシステムが可能  
突発的アクセス増にも簡単に対処できます。



5000アクセス/秒も安価な10ノードで可能  
20兆レコードも3ノードで扱えます



MySQL等は本質的に  
スケールアウトに不向き

## NanaHoshi の特徴-3:業務向け機能

### ■トランザクションが可能

SPOF無しのままで業務向けアプリ構築が可能です。

ECショップの在庫数や受注管理、売上管理にも使用できます。



もちろんKVSが本来得意とする検索系機能もそのまま。

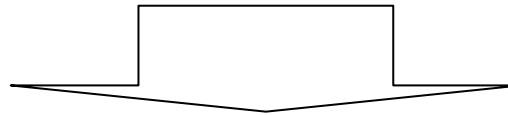


わざわざMySQLやPostgreSQLと組み合わせること無く、業務アプリをNanaHoshiのみで構築することができます。

## NanaHoshi の特徴-4:費用対効果

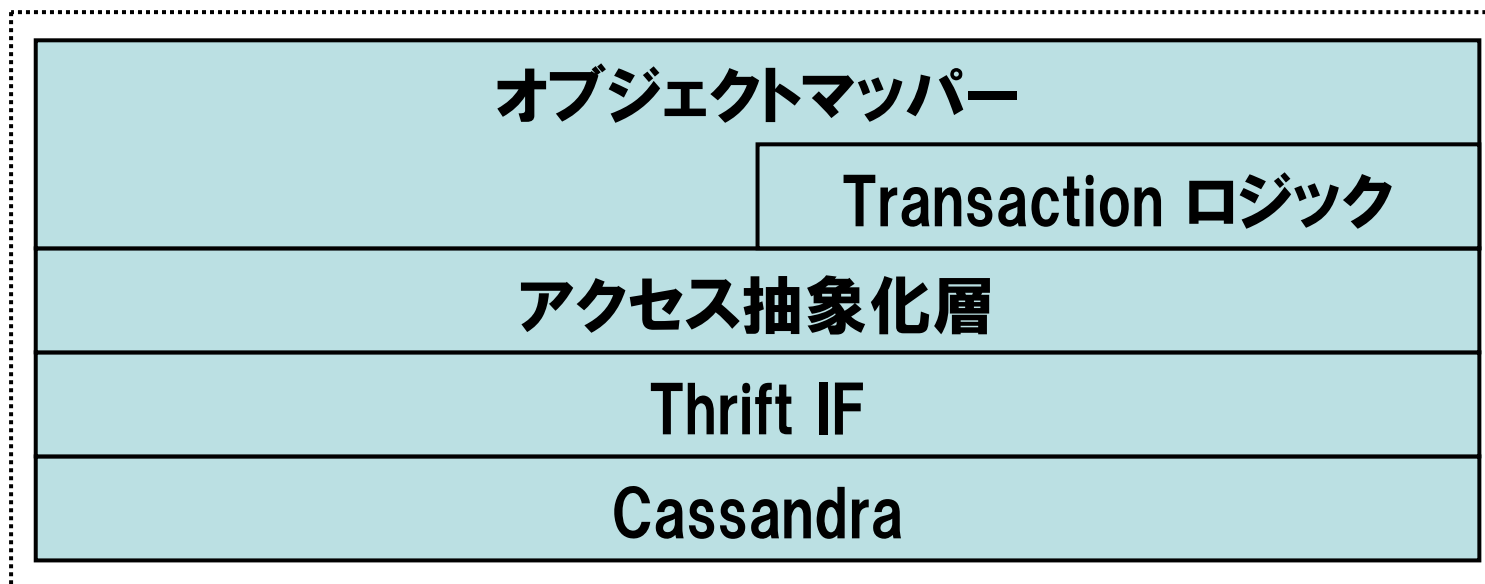
### ■ 1ノード当たりの費用対効果が高い

データベースであると共に、その分散ノード環境はそのままHadoop等を利用した並列解析に使用できます。



これまでのように、解析をするためだけに別途サービスを契約し、データを書き出し、解析結果を読み戻す・・・といった余分に掛かっていたコストを削減できます。

## NanaHoshi の特徴-5:分離構造



Cassandra 自体には一切手を入れない設計で、  
トランザクションを可能にするフレームワークが”NanaHoshi”  
よってCassandraのバージョンアップが非常に容易で、  
メンテナンス性に優れます。

## Cassandraサポートサービス

	プラチナ	ゴールド	スタンダード
メールサポート			
無制限	●		
80時間/月		●	
40時間/月			●
サポート時間帯			
24×7	●		
平日9-17時		●	●
障害切り分け対応	●		
パッチエスカレーション	●	●	●
重大インシデント対応緊急パッチ提供	●		
構築支援	●	●	
運用支援	●	●	

※全て安心の日本語対応です

# NanaHoshiの今後

## NanaHoshiが可能にすること

元々DBを除くWEB側システムはスケールアウト可能



加えて、トランザクションが可能なことで  
業務アプリケーションの構築が  
NanaHoshi (Cassandra) のみで可能



WEBとDBの両方がスケールアウト可能に



システム全体がスケールアウト可能に



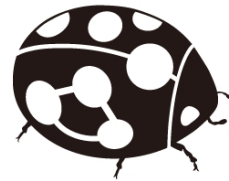
(さらにCPUライセンスなども不要)



コストメリット

## NanaHoshi の今後

- ECサイト構築
- Hadoop連携(バッチ処理)
- リアルタイム解析(動向解析)
- 開発フレームワーク
- CRM/BIソリューション
- API連携
  
- OracleRACの見直し・乗り換えへの適用
- オンプレミスでのクラスタ環境への導入



S-cubism

◆ NanaHoshi に関するお問い合わせ ◆

株式会社エスクュービズム

Tel : 03-6430-6730

<http://ec-cube.ec-orange.jp/lp/nanahoshi/>